

復興ありがとうホストタウン（第 17 次）自治体について

令和 3 年 1 月 29 日

自治体 (相手国等)	受けた支援の概要	取り組もうとする事業の概要
福島県広野町 (インドネシア)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東日本大震災後、同国から多額の義捐金が日本赤十字社に贈られた。寄せられた義捐金の一部は、避難した町民の生活家電や支援物資の購入に充てられ、こうした支援のおかげで長引く避難生活を乗り切ることができ、帰還した町民の生活再建を図ることができた。</li> <li>・ 同町に所在する県立ふたば未来学園中学校・高等学校において、前身の県立富岡高等学校バドミントン部を創部した平成 18 年から、インドネシア人指導者計 4 名を招聘し、現在に至るまで指導していただいている縁がある。</li> <li>・ 平成 27 年度に開催した国際フォーラム「被災地・広野町から考える」において、インドネシアアンダラス大学経済学研究所長のカリミ氏より同国の防災問題の取組について講演いただいたほか、帰町に向けてどのような支援が必要かを提言いただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京大会に向け、歴史、文化、宗教、料理、語学、選手団来訪用のメッセージボード作りなどのインドネシア町民講座を開催する。</li> <li>・ 東京大会のバドミントン競技終了後にはインドネシアの代表選手や指導者等を招聘し、ふたば未来学園バドミントン部員とのエキシビジョンマッチの実施や町民講座参加者による歓迎セレモニーの開催、町の特産品であるバナナの提供や呈茶・点茶体験などを通じた文化によるおもてなしを実施する。</li> </ul>

この登録により、登録数：446 件、自治体数：517、相手国・地域：183 となる。

(復興ありがとうホストタウンの登録数は、32 件 (32 自治体) となる。)